

パケット通信機を活用した自動観測システム導入  
による土砂災害対策強化  
(山口県 砂防課)

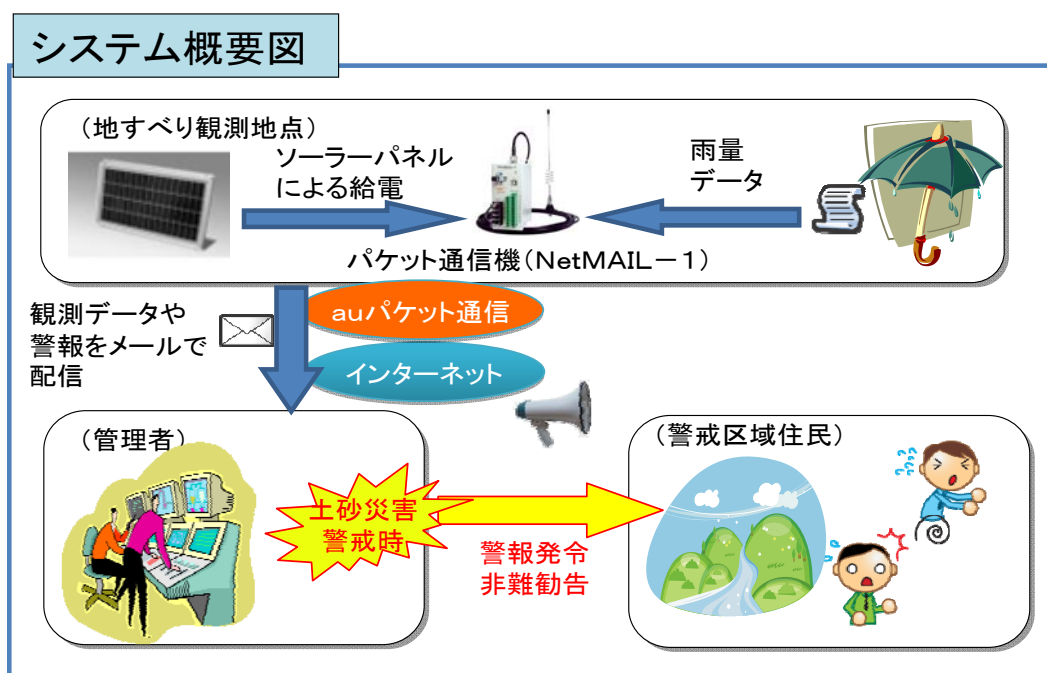
〔概要〕

山口県は土石流災害警戒避難対策事業の一環として遠隔地の雨量データをリアルタイムに収集できるシステムを導入している。迅速な警報発令、避難勧告を行う必要のある市町村に情報を提供することで、住民の被災リスクを軽減している。

〔コラム〕

集中豪雨により土砂災害が多発した地域では、地盤が緩み新たな災害発生の危険性が高くなっている。昨今、注目されているゲリラ豪雨によって突然発生する土石流災害に対して、それを素早く察知し、流域の住民が迅速に避難できるよう対策を講じる必要がある。

土石流災害の発生リスクは、危険地域の降雨状況を把握することである程度予測できる。しかし従来、電源や通信インフラが未整備の現場においては通信機器を介してリアルタイムで雨量情報が取得できず、土石流発生のリスクを予測できずにいた。そこで、ソーラーパネルを電源とした無線通信による雨量自動観測システムを導入し、特に土砂災害発生の確率の高い地域に観測装置を設置した。これにより、自治体の防災担当部署が現場の降雨状況をリアルタイムで正確に把握できるようになり、土石流等の土砂災害発生のリスクについて遅延なく判断できるようになった。



(問い合わせ先)

■観測システム

株式会社オサシ・テクノス営業課  
TEL:088-850-0535  
e-mail: info@osasi.co.jp  
URL: http://www.osasi.co.jp/

■パケット通信機

KDDI株式会社 ソリューション推進本部  
TEL:03-6678-6512  
e-mail: sol-applic-support@kddi.com